

道徳だより

令和7年6月30日発行

1年

題材名:さかなのなみだ

ねらい:集団内で苦しむ人がいたら、集団の一員として一人ひとりが行動することでのじめのような問題を解決に導けることを自覚し、よりよい集団や社会をつくろうとする態度を育てる。

お互いに、尊重したり、高め合ったりしていけばいいと思いました。良い思い出をたくさん作ったり、絆を深めたりすることも大切だと思います。一人一人を大切に、一人で悩まずに先生や両親、友達に相談できる関係づくりをすればいいと思います。(2組)

クラスの一員として自分にできることは、まず、いじめの原因のストレスをなくす集団にした。もし、いじめが起きてしまったら、見て見ぬふりはせず注意して、こんな、しょうもないことはせずに、もっと広い世界でいろいろなことを楽しもうと言おうと思った。(3組)

今日はいじめについて、見ているだけの人も小さなYesを送っていると知りました。いじめが起きたときは小さな声で「いじめじゃない？」などと言うことが1番いいとも知れて良かったです。私だけではいじめを止められないので、友達などと一緒に言いにいったりしたいです。(1組)

2年

題材名:5月の風-ミカー

ねらい:スマートフォンを持たないことで部活動のメンバーの中で何となく疎外されている友達(カナ)のことをずっと気にしながらも、周囲のメンバーに合わせてしまう主人公(ミカ)の思いについて考えたり話し合ったりすることを通して、友情の尊さを理解し、友達と互いに信頼し合い、高め合おうとする態度をはぐくむ。

- ・信頼される友達になるには、相手に寄り添い理解し合う友達がお互いに信頼できると思います。お互いを傷つけあったりするのはよくないと思う。(1組)
- ・裏切ったりうそをついたりせず仲良くすることが必要だと思う。理由は裏切られたら信頼していたとしても一気に信頼できなくなるからです。(1組)
- ・信頼される友達とは、助け合うことだと思う。相手が困っているときはアシストをして、逆の場合は、相手に助けを求めれば信頼される親友だと思いました。(2組)
- ・信頼されるには、相手の気持ちを考えて行動、発言することが大切だと思った。1回決めたことをかえないようにすれば、相手が心配することはなくなると思う。(2組)
- ・信頼される友達になるには、正直であることが大切だと思った。でも、優しい嘘についてもよいのではないかなと思うし、相手が嫌なことをしないようにすることも大切だと思った。(3組)

3年

題材名:卒業文集最後の二行

ねらい:集団の圧力に負ける人間の心の弱さや醜さは深い心の傷を生むことや、集団の中で一歩踏み出すことがその克服につながることを自覚し、差別や偏見を人間として集団として許さない態度を育てる。

・自分がやらないことはもちろん、しているのを見たら、絶対に注意して、このクラス、学年、学校がいじめのない安全な場所にしていきたいと思った。やられた人は一生心に傷を負うことを忘れたくない。(1組)

・自分が相手にされたいやなことではないという当たり前のことを大切にしていきたい。この「当たり前」ができれば、いじめはなくなると思うからだ。自分の羨ましいという気持ちを相手にぶつけることは絶対にダメだと思う。(1組)

・今までは自分が「それおかしいんじゃないか」とか、「それダメじゃない?」と思っていても、周りの人の意見に合わせないと、「ノリが悪い」と思われたり、「変な人だ」と思われたりするから合わせていたけど、それでいじめがなくなるわけでもないし、周りの考えが変わるわけでもないから、自分が正しいと思っているなら、それを周りに伝えることがいいと思った。また、自分のためだけに同調するのではなく、自分と周りのために正しいことをしていきたいと思う。

(2組)

題材名:違うんだよ、健司

ねらい:友達とは、無批判に同調したり表面的に付き合ったりする存在ではなく、互いに励まし合い、高め合うことの自覚を通して、友達を一層大切にしようとする実践意欲を育てる。

- ・友情関係において、何でも話し合えること、何でもかんでも意見を合わせないことが大切だ。
- ・今日の授業で、友達とは何かについて考えることができた。私は友達にとって、いつでも向き合って話せたり、親切だと感じたりできるような友達でいたい。(3組)

